

平成25年度 当初予算

主な事業の説明書

市立大曲病院

事業説明書

款 項 目 事業

新規 ・ 継続 ・ 廃止

課所名 市立大曲病院 管理課

(施策の大綱) 保健・医療の充実

(施策) 地域医療体制の充実

(基本事業) 医療機能の強化

【事業名】	市立大曲病院事業			
【説明項目】	市立大曲病院事業会計について			
収益的収支	【25年度】	1,000,264千円	【24年度】	1,007,441千円 【増減】 ▲7,177千円
資本的収支	【25年度】	108,421千円	【24年度】	96,159千円 【増減】 12,262千円

1. 事業の目的
 市民の健康保持に必要な医療の提供を行う。
 精神的症状を呈する患者に対し、適切で良質な医療の提供を行い、安定した療養生活の継続や、自立・社会復帰を支援する。

2. 事業の目標 (数値目標)
 標榜科目・・・精神科、神経科、(内科)
 病床数・・・120床 (一般精神病棟70床、認知症病棟50床)
 入院及び外来診療の実施 (年間取扱患者数)
 ・入院・・・41,245人 (1日あたり113人)
 一般精神病棟・・・24,455人 (1日あたり67人)
 認知症病棟・・・16,790人 (1日あたり46人)
 ・外来・・・15,000人
 外来・・・14,640人 (1日あたり60人、244日)
 訪問看護・・・360人 (1日あたり3～4人、週2～3日)

3. 事業の概要
 精神科病院として地域医療の充実を図りながら、効率的な病院経営を行う。
 入院に関しては、一般精神病棟、認知症病棟ともに在院日数の長期化対策を念頭に、新規の入院患者の受け入れに努めるとともに、総合病院と老人介護施設との中間に位置する病院として、患者の受け入れを行う。
 外来に関しては、在宅支援の観点からの訪問看護・指導や、ものわすれ電話相談も含め、さらなるサービスの向上を目指す。

【収益的収支予算】

病院事業収益	1,000,264千円
医業収益	773,764千円 (うち入院 564,917千円、外来 205,287千円)
医業外収益	226,500千円 (うち一般会計負担金 225,354千円)
病院事業費用	1,000,264千円
医業費用	955,760千円
医業外費用	43,004千円
予備費	1,500千円

【資本的収支予算】

資本的収入	0千円
資本的支出	108,421千円

(収入額が支出額に不足する額は、過年度損益勘定留保資金で補てん)

4. これまでの成果と今後の方向性

- 精神科医療の需要が高まっている現在、地域にとって必要な精神科病院となっている。
- 今後も、心の病を抱える患者や認知症患者の増加が予想されるため、より充実した医療サービスの提供に努める。

《H24年度事務事業評価における内容》	総合評価 (今後の方向性)
近年は外来患者数が1日約60名、病床利用率も90%を超え、大仙市及び周辺地域の精神科病院として必要とされており、欠くことのできない病院である。	現状のまま 継続

5. 財源内訳 (単位:千円)

予算額	国県支出金	市債	その他	一般財源
1,000,264			774,910	225,354
108,421			108,421	0